

科目名 英語科教育法 I

(2024 年 1 月 9 日作成)

氏名 河原 俊昭

No.1

内容 (〇〇する 力がある) 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1 英語教育とは	自らの英語教育 を振り返る。	自分の受けてきた英 語教育を説明でき る。		過去と現代の英 語教育を比較し て分析する。	英語教育の意義を説 明できる。	
2 英語教師論	自分を担当して くれた英語教師 の教え方の特徴 を想起する。	自分の受けてきた教 授法がどのような考 え方に基づいている か説明ができる。			理想的な英語教師と は何か評価すること ができる。	自分になりたい英 語教師を心に描 く。
3 英語の学習者	自分自身の英語 能力を客観的に 再認する。		学習者の素質を伸 ばす英語教育を考 案する。	望ましい英語学 習者とはどのよ うな人か分析す る。		
4 言語習得論		言語習得論を説明で きる。		行動主義理論と 生得説理論を比 較分析する。		
5 聞くことの指導			聞くという「能動 的な」行動につい て説明できる。		ディクテーションの 効果を評価する。	模擬授業を行う。

6 学習指導要領		英語の学習指導要領の歴史を説明できる。	授業を見て、学習指導要領のどの部分と関連するか説明できる。	小学校、中学校、高等学校の学習指導要領を比較分析する。		模擬授業を行う。
7 聞くことの指導		能動的に「聞くこと」の意味を理解する	日本人が聞き分けに苦手な音の訓練法を知る。	日本語と英語の音声の違いを分析して説明できる。		
8 話すことの指導	自分のスピーキング能力を客観視できる。	話すこと (Conversation, Public Speaking)の2つの行動の違いを説明できる。			英語を「話す」ことを評価できる。	模擬授業を行う。
9 読むことの指導		トップダウンとボトムアップの読み方を指導できる。	プレリーディングの方法を考察する。			模擬授業を行う。
10 書くことの指導		年齢による書くことの意義の違いを説明できる。	自由英作文と課題英作文を比較対照する。	結束性と一貫性を説明できる。	各種機械翻訳を比較して評価できる。	
11 評価と言語テスト	自分の受けてきたテストを想起して説明できる。	色々なテストの種類を説明できる。		CEFR の評価を考える。	主観テストと客観テストの長所、短所を評価できる。	小学生レベルの英語テストを作成する。

1 2 世界の英語		世界の英語の種類を理解する。		英米英語から国際英語へというパラダイムシフトを分析する。	日本人の英語の特徴を評価する。	
1 3 小学校の英語教育	自らの小学校での英語教育を想起する。	小学校特有の英語教育を理解する。	様々な指導法（ライム、早口言葉、歌、ゲーム）などを実践する。			言語の気づきを説明させる。
1 4 異文化理解に関する指導	自分が異文化と接した体験を想起する。	言語相対論に基づき、文化と言語の関係について理解する。		世界に多発する民族問題と言語の事例を収集する。		関連する情報をテレビ・新聞などで収集する。
1 5 教材及びICTの活用	自分が英語学習に用いている電子機器を説明する。	教育実習で見てきた教育機器を理解して説明できる。			いろいろな教材やICTを比較して特徴を説明できる。	適切な補助教材を作成する。